



島の最終日に過ごした大切な場所

## 1月にしたこと（最終月）

5ヶ月にわたる留学の最終月になる。10月半ばから始まったプロジェクトの制作を完成させ、1/15に最終プレゼンテーションを行う。試験で一区切りつくと、留学生は作業場を片付けて荷物をまとめ、学生同士でお別れ会を開いたり、友人とお互いの作品を交換したりして島での残りの時間を過ごす。

- 1/4 ~ 作品焼成
- 1/7 ~ 薪窯
- 1/14.15 最終試験  
プレゼンテーション
- 1/29 島を出る → ヨーロッパ人旅



霜がかかる雑草



焼成前の陶片



夜の作業場

## 大学での活動

### ◎最終焼成

クリスマス休暇前に素焼きまで進めていた陶片に釉薬をかけて、配置を調整して最終焼成をする。



想定より全体的に薄色の焼き上がりだったが、彫りの装飾や手で割った不規則な割れ目の形が釉薬の特性と相まって面白い表情になった。

### ◎最終試験（プレゼンテーション）

最終試験は作品の実物とそこに至るまでの過程やテストなどを見せながらの15分のプレゼンテーション、それを見た教授からのフィードバック、評価で成績がつけられる。私は窓際に展示をして、日中の外からの光と夜の内側の照明の光による、作品の見え方の違いやコンセプトの木漏れ日についてなどを英語で説明した。

英語でのプレゼンテーションは何回か経験を積んできたものやはり緊張した。説明しきれなかったことや思い通りにいかなかった今までの悔いなどがあつたが周りの人に励まされ前向きに考えられるようになった。



展示風景

窓の外から差し込む光

### ◎薪窯に参加する 1/7~9

作りたての花器をいくつか入れることにした。薪をくべる作業に取り組み、全身煙臭に包まれながら代わりばんこに温度が少しずつ上がるよう窯の番をした。窯出して皆の作品の様々な焼成結果を見合う時間がとても楽しく、しばらく作品から離れられなかった。



施釉して窯詰め前



薪をくべる



焼成後窯出しをした作品



作品を島の風景と合うところに持っていき写真を撮り記録する。この日は風が強く波がいつもより荒れていた。



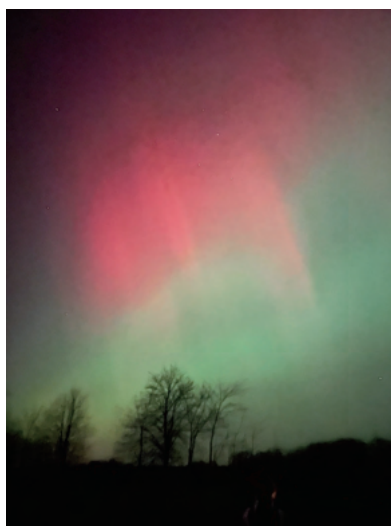
最後のお別れパーティーで友達一人一人に小さいメッセージを書いて渡した。なかなか口では伝えきれないことを書く。



お餅が手に入ったので、磯部焼きを作りみんなに食べてもらった。真ん中のはニンジンの飾り切りで、毎年お正月に作っていたものをこちらでも作ってみた。



ずっと前から一度は体験してみたと思っていたサウナに行くことができた。大きい窓があり、昼間には外の海の景色が見える。この時は夜で雪混じりの雨が降る天気の中で涼むという状況だった。



お別れパーティーの最中に皆が急に外に出始めて、何事かと後を追うと、空にオーロラが広がっていた。まさかボーンホルム島で見られると思っていたなくて夢みたいな景色だった。



よく部屋に呼んでくれていた友人と最後と一緒にお茶漬を食べた。ここは本当に空間も人も温かくて自分にとって忘れられない時間を過ごした大切な場所である。

## 最後に

この5ヶ月の留学は私にとってとても長く感じ、内容の濃いものでした。

楽しいだけではなく自分の不甲斐なさに落ち込む場面もありましたが、終わった今、行って本当に良かったと思っています。現地の仲間や旅の中で様々なものを目にして会話をし、たくさんの刺激と学びを得ることができました。

レポートに書ききれないことがまだまだあるので、何か質問がありましたらご連絡をいただけたらお答えしたいと思っています。この先留学を考える方や興味を持った方の力になれることを願っています。

